

みよつほつれんげきよつ によらじゆりよつほんだいでいしゆしんく
妙法蓮華經 如来寿量品第十六

じがとくぶつらい しちきよつていよつしゆ むりよつひやくせんまん おくさいあそつぎ
自我得仏来 所経諸劫数 無量百千万 億載阿僧祇

じよつせつほうきよつけ むしゆつおくしゆじよつ りよつにゆつおぶつてう にらゐむりよつこつ
常説法教化 無數億衆生 令人於仏道 爾来無量劫

いどしゆじよつこ ほうべんげんねはん にじつふめつと じよつじゆつしせつほう
為度衆生故 方便現涅槃 而実不滅度 常住此説法

がじよつじゆつおし いしよじんつうりき りよつてんどうしゆじよつ すいこんにふけん
我常住於此 以諸神通力 令顛倒衆生 雖近而不見

しゆけんがめつと ころくようしゃり げんかいえれんぼ にしよつかつこうしん
衆見我滅度 広供養舍利 咸皆懷恋慕 而生渴仰心

しゆじよつきしんぶく しちじきい にゆうなん いっしんよくけんぶつ ふじしゃくしんみよつ
衆生既信伏 質直意柔軟 一心欲見仏 不自惜身命

じがきゆつしゆじよつ くしゆつりよつじゆせん がじししゆじよつ じよつにいしふめつ
時我及衆僧 俱出靈鷲山 我時語衆生 常在此不滅

いほうべんりきこ げんうめつふめつ よこくうしゆじよつ くきよつしたきよつしや
以方便力故 現有滅不滅 余国有衆生 恭敬信樂者

がぶおひちゆつ いせつむじよつほう によとうふまんし たんにがめつと
我復於彼中 為説無上法 汝等不聞此 但謂我滅度

がけんしゆじゆつ まつさいおくがい こふいげんしん りよつじゆつかつつ
我見諸衆生 没在於苦海 故不為現身 令其生渴仰

いんこしんれんぼ ないしゆついせつほう じんつうりきにせ おあそつぎこつ
因其心恋慕 乃出為説法 神通力如是 於阿僧祇劫

じよつせつほうきよつせん けきよつしゆじゆつしん じゆじよつけんじゆじん たいかしよじゆつじ
常在靈鷲山 及余諸住处 衆生見劫尽 大火所燒時

がしどあんのん てんにんじゆつじゆつしん おんりんしちぶつかく しゆじゆつしゆじゆつ
我此土安穩 天人常充滿 園林諸堂閣 種種宝莊嚴

ほうじゅたけか 宝樹多華果
しゅじょうじゆうらく 衆生所遊樂
しよてんぎくてんく 諸天擊天鼓
じようさしゆぎかく 常作衆伎樂

うまんだらけ 雨曼陀羅華
さんぶつきゅうだいしゅう 散仏及大衆
がじょうどぶき 我浄土不毀
にしゅうけんしゅうじん 而衆見烧尽

うぶしよくのう 憂怖諸苦惱
によせしつじゆまん 如是悉充滿
ぜしよざいしゆじょう 是諸罪衆生
いあくこういんねん 以惡業因縁

かあそうぎこう 過阿僧祇劫
ふもんさんぼつみょう 不聞三宝名
しゅうしゆくどく 諸有修功德
にゅうわしちじきしゃ 柔和質直者

そっかいけんがしん 則皆見我身
ざいしにせつぼう 在此而説法
わくじいししゅう 或時為此衆
せつぶつじゆむりょう 説仏寿無量

くないけんぶつしゃ 久乃見仏者
いせつぶつなんち 為説仏難値
がちりきによぜ 我智力如是
えこうしゅうむりょう 慧光照無量

じゆみょうむしゆこう 寿命無数劫
くしゆきやうしよとく 久修業所得
にょとううちしゃ 汝等有智者
もつとうししゅうぎ 勿於此生疑

とうだんりょうようじん 当断令永尽
ぶつこじつふ 仏語実不虛
にょいぜんほうべん 如医善方便
いじおうしこ 為治狂子故

じつぎいにこんし 实在而言死
むのうせつこもう 無能説虚妄
がやくいせぶ 我亦為世父
くしよくげんじや 救諸苦患者

いぼんぶてんどう 為凡夫顛倒
じつぎいにこんめつ 实在而言滅
いじょうけんがこ 以常見我故
にじゅうぎやうしした 而生僞恣心

ほういつじやくしよく 放逸著五欲
だおあくじゆちやう 墮於惡道中
がじゅうちしじゆしやう 我常常知衆生
ぎやうだうじゆちやう 行道不行道

ずいおうしよかど 随応所可度
いせつしじゆほう 為説種種法
まいじさせねん 每自作是念
いがりやうしじゆちやう 以何令衆生

えいへんしじゆちやう 得入無上道
そくじゆちじゆちやう 速成就仏身